令和元年度 摂津市立千里丘小学校 第3回 学校協議会 要点録

日時:令和元年11月14日(木)18時~ 場所:摂津市立千里丘小学校 会議室 記録:田中 大介(事務局)教頭

参加者:中田 康之委員、以登田 毅委員、丸山 紘幸委員、葛西 昭子委員、 木下 さひ子委員、校長 撰田裕美、教頭 田中 大介

(校長) お集まりいただきありがとうございます。本日もたくさんご意見いただきたく思います。

1. これまでの学校の取組みについて(校長より説明)

- ○初任者配置校訪問について
- ○ファミリー運動会について
- ○校内研修(愛着障がいと発達障害の違いについて)について
- ○校外学習について
- ○三中校区青少年対策委員会について

2. 学校行事の実施時期について

運動会を今年度は11月2日(土)に実施しました。もし、運動会が1日ずれて、11月3日の実施であれば木枯らし1号が吹き、寒い状況だったと考えられます。また、運動会を11月に実施したことで修学旅行は少しまだ暑い9月に実施しました。運動会の適切な時期についてご意見いただきたく思います。

【運動会の実施時期に関する意見交換】

- (委員) 運動会の実施時期はとてもよかったと思います。例年であれば暑いので、ただ少 し遅ければ寒い可能性もありましたね。
- (委員) 季節的にもよかった。早くすると台風の影響もありますしね。
- (委員) 日なたは暖かったと思う。日陰のテントの中は寒かった。もし当日が曇りだった りしたら寒かったと思います。
- (委員) 季節的には10月末から11月がいいと思います。ただ、運動会のみで学校行事を考えるのではなく、他の様々な学校行事全体を踏まえていつの実施がいいのかを考えるべきだと思う。地域行事も含めて秋の他行事は何がありますか。
- (委員) 10月第3週及び第4週にファミリー運動会とその予備日がありますね。運動会 を第2週にすると地域のお祭りと重なってしまいますね。

- (委員) KENTOひまわり園では10月の第二土曜日に運動会を実施しています。これまでは10月第1土曜日だったが、暑いので第二土曜日に変えました。また、幼稚園によっては小学校の運動場で運動会を実施していることもあり、運動場を借りなければならない。小学校の都合もあり、借りれるのかということも課題である。また、運動会を3時間実施しているところを2時間半に変更するなど、運動会実施時間の短縮を図る園もあります。
- (校長) 次年度の他校の運動会の予定は10月末が3校、もう1校は春開催を考えている と聞いています。春開催についてはどう思われますか。
- (委員) 運動会を春にすると実施の目的がかわってきますよね。学級づくり(仲間づくり) を目的に含めると春もありだと思うし、目的を何にするかは大切だと思いますね。
- (委員) 当初は、仲間づくりができていない1学期に運動会を実施することに反対でしたが、運動会をきっかけに仲間づくりを実施するのもいいのかなとも思います。
- (校長) そうですね。運動会の目的も時代とともに変わってきています。 例えば、行進について言えば、子どもたちの手や足をそろえることだけを目的に はしていません。
- (委員) 幼稚園の年長児のクラスは、運動会を通して、「クラスのみんなで一緒にやった」 という仲間づくりにつながっていると思います。結局運動会の目的を何にするか が大切ですね。春か秋かの時期決定は色々な意見もあり決めるのはなかなか難し いですね。
- (委員) 中学校の場合、体育大会は平日だし、小学校の場合は運動会で子どもの成長を確認するという目的もあると思います。保護者の意見を聞くのもいいと思いますね。

【運動会以外の学校行事の意見交換】

- (校長) 今年度の修学旅行は9月下旬に実施したが、たまたま涼しかったし、林間も雨が降ったが予定の体験活動等は実施できて、結果的によかったです。 千小発表会と運動会の間が短かったことは今後検討の必要性があったのかなと考えています。 運動会以外の学校行事についてご意見はいかがでしょうか。
- (委員) 以前は千小ランドがありましたね。千小発表会も以前は春実施でしたが今は秋実 施ですね。
- (校長) 暑くもなく寒くもない、いい時期に色々な行事が重なってくる現状がありますね。
- (委員) 雨でも林間や修学旅行は実施していますか。
- (校長) はい、台風などでない限りは行きます。
- (委員) 修学旅行のプログラムでも雨用と晴れ用で違うプログラムを実施していますね。
- (校長) それぞれの学校行事が子どもたちにとってより質の高いものになるよう、実施時期を今後も検討いたします。今後の学校協議会においても引き続き、随時、ご意

見をいただきたく思います。

2. 全国学力学習状況調査の結果(校長より資料をもとに説明)

- ○国語・算数の結果についての説明
- ○質問紙調査の結果説明
- (校長) ご意見やご質問等お願いします。10月末に授業参観もしていただいていますので、子どもたちの実際の様子と今回の結果を見てのご意見等でもかまいません。よろしくお願いします。
- (委員) 「地域の行事に参加しているかどうか」については地域性もかなりあると思います。気になるのは「将来の夢や目標を持っていますか。」「読書は好きですか。」です。読書が好きと言う子が多いが、実際に本を読む時間が少ない理由は「学校では本を読んでいるが、借りて帰ってきて家では読まない」のか、「読む時間がない」のかなと想像します。
- (委員) そうですね。保護者として見ていると、毎日の生活の中で(読書できる時間は) 寝る前の10時までの30分ぐらいかなと思います。読みたいけれども、実際は 読む時間がないかなという状況ではないでしょうかね。また、高学年になると(読 書するより)テレビを見る方に流れていくのかなと思います。
- (委員)「将来の夢や目標を持っていますか」の質問が気になりますね。 世界的にみても日本は夢や目標を持っている子どもの割合が低いです。子どもた ちにとって、大人へのあこがれみたいなものを持てるかどうかというのも大切で すね。
- (校長) 保育園では読書の時間はとられてますか?
- (委員) 3歳以下は読み聞かせが中心となるが4歳以上になると自分で本を読むことを目指すようにさせています。園で「読書の時間」を意図的につくって、読書をすることについては大事にして取り組んでいます。
- (校長) 学校では読書ノートを活用していますね。普段子どもたちを見ていると、子ども たちは本に対して興味があるように見えます。しかし、家ではあまり本を読まな いのはなぜかなと感じています。
- (委員) そうですね、数値的には家では全く読まない人が3人に1人はいますからね。
- (委員) 家では You Tube がありますからね。
- (校長) 将来なりたいランキングに You Tuber が入ってきている時代ですからね。

3. その他

(校長) 夏休みを中心として、絵画コンクールやポスター作品の応募をしています。 今年度の結果は環境ポスターと健康づくりポスターで最優秀賞、夢づくりポス ター及び国際平和ポスターでは佳作を受賞している児童がいます。 表彰されるとやはり嬉しいですし、他者から評価されることは本人の自信にも つながっていくと思っています。

- (委員) ポスターに書く、言葉とかはどうやって子どもたちは考えているんですか。
- (校長) 参考になる資料を子どもたちに提示したりして、夏休み前に一定、指導したう えで夏休みの宿題にしています。
- (委員) 色々な機会で評価されるのはいいと思いますね。
- (委員) 子どもは1つ頑張って達成感を持てたことが色んなことに波及していくと思います。例えば、水泳が泳げるようになったらその気になって鉄棒もできるようになるなど、自信が色々なところに波及していくと思いますね。
- (校長) 全体を通して何かございませんか。
- (委員) 学校の児童は誰が守るのか。「学校」「家庭」「地域」が守る。子どもは地域で守っていくと聞きますが、今の地域の状況はどうでしょうか。私は少しずつでも地域のきずなを深めていかなければならないなと思います。
- (校長) 千里丘小学校を誇りに思っている保護者は多いと思いますね。 誇りをもってもら えるよう引き続き運営していきたいと思います。
- (委員) 今は、セーフティパトロールが地域のきずなの一つの形なのかなと思います。しかし、自治会の中にも温度差があるのが現実ですね。自治会に対する住民の考え方も違います。古くから住んでいる方が多く住んでいる自治会と新しく他地域からの転入者から成り立つ自治会とでも考え方が違う。
- (委員) 地域のきずなをどうにか深めていきたいですね。芝生もその形の1つですよね。 どうすればきずなが深まるのかを考えていく必要がありますね。
- (委員) 地域と福祉のかかわりでいうと、3年生が地域公民館に来て、お年寄りと一緒に歌を歌ったりしていますよね。一緒に交流することのように、継続的に続くようなしかけが必要ですね。
- (委員) 今、リハサロンはどうなっていますか。
- (委員) 今は公民館で実施しています。今日(11月14日)は世代間交流を実施しました。3年生の子どもたちとグループでこまに色塗りをしました。そして、こま回しをして楽しみました。
- (校長) そうですね。地域とつながって子どもたちを育てていく教員の育成も必要ですね。 今年度の本校の教職員の平均年齢は36歳です。経験年数で言うと5~10年の 経験の教員が多いです。本校が地域の誇りとなれるよう引き続き教員の育成を続 けて参ります。